

SUAC

春山合宿計画書

1968.3.15 — 3.26

信州大学山岳会五日山守部

人 入山にあたり C.L. 栗良明

年間計画では硫黄尾根より不恰ヶ岳となつて来たが、冬山合宿の失敗、部員減少、部費の急激な減少などにより部力の低下と奮りあえて硫黄尾根の計画を中止して南アルプス縦走を計画した。

合宿では部員の研究を重視に於てこれは来年度の冬山に計画している 知覚、次個人尾根と目標にしてゐる。

全力をこめて南アルプスの縦走をやりあげよう。

2 目的

- 1) 積雪期の判断断り及び雪上走行の修得
- 2) 最後までがんばり計画を完成する。
- 3) 雪洞技術の修得

3 時と場所

1968年3月15日 ~ 3月26日 三伏峠 ~ 聖岳

4 連絡先

本部 信州大学繊維学部厚生補導係

部長 内田貞夫 (繊維学部助教授)

留守本部 池内寛幸

北佐久郡軽井沢町 1178

5 人員構成

山岳準備 真 良明

負傷記録 河原 洋

食料会計 杉本 敏宏

6 参加者名簿

参加者名	血液型	番号
真 良明 (E3)	B	3

河原 洋 (E3)	上田市古里道地 2442 泉荘 (A-B)	3
	愛知県宝飯郡御津町新屋敷49	

杉本敏宏 (E3)	上田市常入信大修己寮 TEL(2) 5073	
	高田市東本町5丁目148番地	

7 残留部員

部員

木村修二 (E3) 4 岡崎市乍作所加護 畑

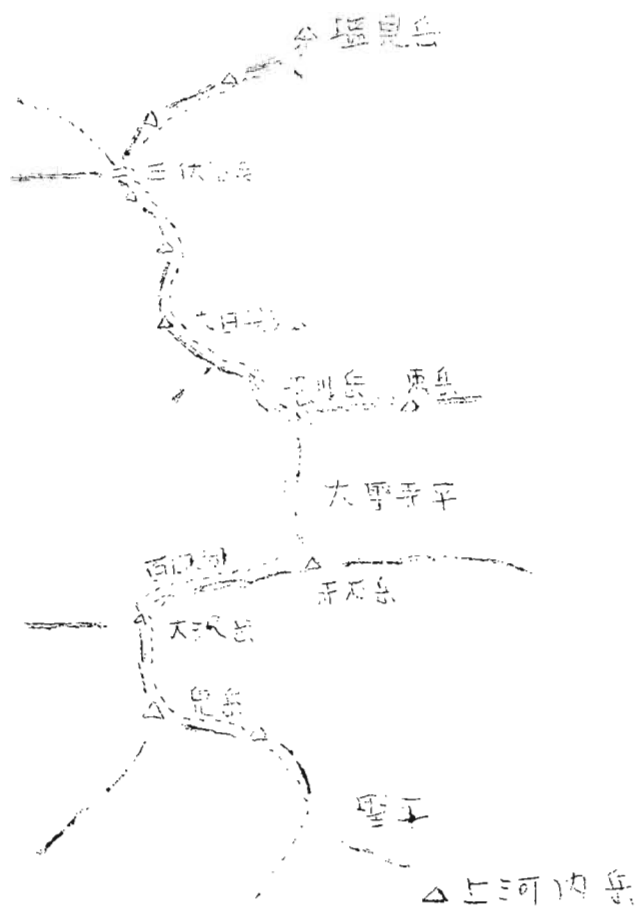
池内寛幸 (E2) 2 北佐久郡軽井沢 1178

青柳吉宏 (E3) 1 信大修己寮 TEL(2) 5073

8. 行動表

第1日目	上田 → 萩 → 得那大島 → 鹿塩
2日目	鹿塩 → 備前 → 三伏峠
3日目	塩見岳 往復
4日目	三伏峠 → 大日影山
5日目	大日影山 → 荒川岳
6日目	荒川岳 → 栗岳
7日目	荒川岳 → 百間平
8日目	百間平 → 聖平
9日目	聖平 → 西沢渡 → (下山)
予備日	3日

9. 概念図



① 準備

① 共同準備

- | | | |
|------------|---------|------|
| テント(4000) | テント(10) | テント |
| ヴェルト(4000) | | テント |
| シート | | ベニヤ板 |
| スリッパ | | テント |
| グラブ | | 器具 |
| 張網準備 | | カメラ |
| ペグ | | ラジオ |
| ザイル(4000) | | 調理器具 |
| ハンマー、カシゴ | | テント |
| ロープ、足子 | | テント |
| 検視器 | | |
| ホエブス | | |

② 個人準備

ヘッドランプ、セルブスト、ワニグラス、セーター、ボウショ、サブライク、靴

③ 燃料計画

- | | | | |
|-------|------|-----|-----------|
| ガソリン | 100 | 1/2 | 200 |
| エタノール | 5000 | | キャンドル 20本 |
| マッチ | 15ヶ | | |

非常用燃料 (1人分)

燭型マッチ 10本、キャンドル 2本、マッチ 4ヶ

④ 医薬

- | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|-----|----|
| 風邪薬 10包 | 胃腸薬 10包 | 鎮痛剤 10包 | ビタミン剤(1日1錠) | スチロクローム | 塗布薬 | 軟膏 |
| 胃腸薬 10包 | 鎮痛剤 10包 | ビタミン剤(1日1錠) | スチロクローム | 塗布薬 | 軟膏 | |
| 鎮痛剤 10包 | ビタミン剤(1日1錠) | スチロクローム | 塗布薬 | 軟膏 | | |
| ビタミン剤(1日1錠) | スチロクローム | 塗布薬 | 軟膏 | | | |
| スチロクローム | 塗布薬 | 軟膏 | | | | |
| 塗布薬 | 軟膏 | | | | | |
| 軟膏 | | | | | | |